

事務事業名	菅谷たたら山内保存修理事業	所属部	教育委員会	所属課	文化財課
政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち《教育・文化》	所属G	文化財・文化振興グループ	課長名	板垣 旭
施策名	(31)地域文化の振興	担当者名	志賀 崇	電話番号	0854-40-1104
目的	対 象 市民 意 図 地域文化を正しく理解し、文化財の保護と活用に努めるとともに、文化芸術に親しみ創造する。	予算科目	会計 款 大 事業 大 事業 0 1 5 0 0 1 項 目 中 事業 中 事業 2 5 4 5 0 6	(内線)	4751
基本事業名	(089)地域文化の保存継承				文化財施設整備事業
目的	対 象 市民 意 図 地域文化を次世代に伝える。				菅谷たたら山内保存修理事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H24 年度 ~ R3 年度 )
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 菅谷たたら山内保存修理工事 対象施設 高 殿 入母屋造こけら葺1棟 334.9㎡ 元小屋 切妻造こけら葺1棟 293.8㎡ 米 倉 切妻造こけら葺1棟 58.1㎡ 山内祠 金屋子祠 元山祠 牛頭天王祠 愛宕秋葉金刀比羅祠 拝殿 5棟 三軒長屋 切妻造こけら葺 1棟 桂の木 1棟 菅谷たたら山内保存修理工事設計業務 菅谷たたら山内保存修理工事監理業務

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R元年度実績 (R元年度に行った主な活動)	R2年度計画 (R2年度に計画する主な活動)			
	② 活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	① 工事監理業務委託契約事務	件	1	1	2	1
	② 実施設計業務委託契約事務	件	1	3	2	1
	③ 保存修理工事請負契約事務	回	1	2	1	2
	④ 工程管理協議					
	⑤ 次年度事業内容協議					
	ア 委託契約件数	件	1	1	2	1
	イ 工事請負契約件数	件	1	3	2	1
	ウ 審議会	回	1	2	1	2
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象 (誰、何を対象にしているのか)	菅谷たたら山内 各施設	③ 対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	② 意図 (対象がどのような状態になるのか)	保存修理工事の実施	④ 成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
			ア 施工対象施設	棟	2	3	1	1
			イ					
			ウ					
			ア 基本設計進捗率	%	100.0	100.0	100.0	100.0
			イ 実施設計進捗率	%	70.0	81.0	89.0	95.0
			ウ 修理工事進捗率	%	70.0	75.0	86.0	93.0

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
報償費 78千円 普通旅費 66千円 消耗品費 49千円 委託料 12,308千円 工事請負費 82,500千円	財源内訳	千円	52,000	25,000	47,500	25,000
※三軒長屋保存修理工事については、H30年度から一部繰越	国庫支出金	千円	17,332	8,333	15,833	8,333
	県支出金	千円	20,500	16,600	31,600	16,700
【財源内訳】 地方債：過疎債 (31,600千円)	地方債	千円	5			
	その他	千円	35	67	68	77
	一般財源	千円	89,872	50,000	95,001	50,110
	事業費計 (A)	千円	2	2	2	
	正規職員従事人数	人	350	400	400	
	延べ業務時間	時間	1,427	1,733	1,696	
	人件費計 (B)	千円	91,299	51,733	96,697	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
菅谷たたら山内各施設は腐食老朽化が著しく早急な保存修理工事が望まれていた。平成25年3月に三軒長屋(村下屋敷・三番屋敷)が重要有形民俗文化財の追加指定となった。平成26年度に高殿及び祭祀施設の保存修理工事完了。平成28年4月、「菅谷たたら山内」が日本遺産の構成文化財となった。平成29年度に元小屋の保存修理工事完了。平成30年度に米倉・桂の木の保存修理工事完了。	国指定文化財の保存修理として、計画どおり適切な調査、設計、施工を行っている。	山内の保存修理工事を契機に山内及び周辺の自然環境、景観を含めた活用を図り、地域及び雲南市の活性化につなげていきたい。

事務事業名	菅谷たたら山内保存修理事業	所属部	教育委員会	所属課	文化財課
-------	---------------	-----	-------	-----	------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	審議会をはじめとする関係者の意見を修理計画に反映させ、山内の適切な保護とその後の活用を図る。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	雲南市を代表する文化遺産の適切な保護・活用ができなくなる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		類似施設がない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		補助金交付要綱及び積算基準に基づき、設計、積算を行っているので、成果を下げずに、事業費を下げることは困難である。
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		工程管理、工事打合せは省略できない。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		山内は公開しているの、市内・市外において受益者が特定されることはない。
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		令和元年度は、三軒長屋の修理を順調に進めることができた。
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
<p>国及び県への働きかけを強め、早期に保存修理工事が完了することを目指す。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		